



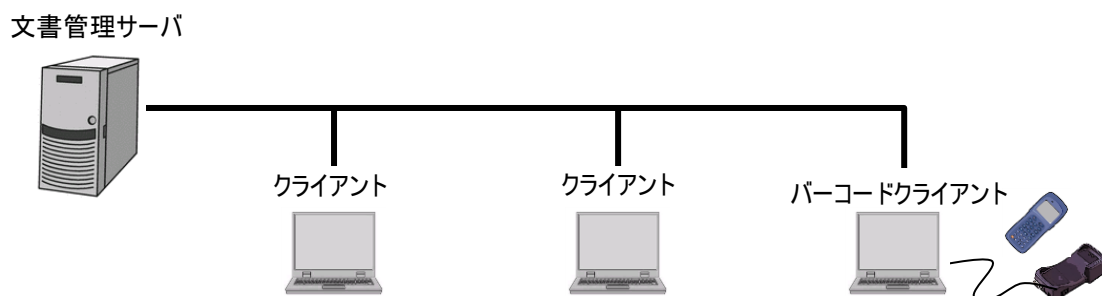
## File Life Station2 V4 動作環境

2023 年 8 月現在

**株式会社フォー・ズィー・コーポレーション**

# File Life Station2 動作環境

## ◎システム構成図



クライアントの種類	使用可能機能	インストール
クライアント	基本機能と管理機能が利用可能	Excel を使用する機能(リスト作成・ラベル印刷・マスタ設定など)や文書管理オプション、バーコード処理オプション、電子文書管理オプションを使用する場合、インストールが必要 ※ Microsoft.NetFramework3.5 ~ 4.8 の機能を有効にする必要があります。
バーコードクライアント ※1	全ての機能(基本機能+管理機能+バーコード機能)が利用可能	バーコード処理オプションのインストールが必要 ※ Microsoft.NetFramework3.5 ~ 4.8 の機能を有効にする必要があります。

※ 1 バーコード処理を使用したい場合のみ、必要となります。バーコード処理オプションは別売りです。

# File Life Station2 動作環境

## 1. 文書管理サーバ

No.	項目	動作環境	推奨環境 <sup>※1</sup>
1	ハードウェア <sup>※2※3</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CPU: Intel 製(または同等のプロセッサ) 2GHz 以上</li> <li>• メモリ: 8GB 以上</li> <li>• ハードディスク容量: 50GB 以上<sup>※4</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CPU: Xeon E5606 2.13GHz 以上</li> <li>• 仮想サーバの場合、4コア以上</li> <li>• メモリ: 16GB 以上</li> <li>• ハードディスク容量: 200GB 以上</li> <li>• バックアップ装置(テープ装置等)</li> </ul>
2	オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows server 2022</li> <li>• Windows server 2019</li> <li>• Windows server 2016</li> <li>• Windows server 2012/R2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows Server 2019 Standard (64bit)</li> </ul>
3	Web サーバ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Internet Information Server 8.5.以降<sup>※2</sup></li> <li>• 統合 Windows 認証または、基本認証を使用 (ドメインまたはワークグループ)</li> <li>• OPEN JDK11<sup>※5</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Internet Information Server 10</li> <li>• 匿名アクセスによるアプリケーション認証を使用</li> <li>• OPEN JDK11<sup>※5</sup></li> </ul>
4	RDB <sup>※2</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SQL Server 2022</li> <li>• SQL Server 2019</li> <li>• SQL Server 2017</li> <li>• SQL Server 2017 Express Edition<sup>※6</sup></li> <li>• SQL Server 2016</li> <li>• SQL Server 2016 Express Edition<sup>※6</sup></li> <li>• SQL Server 2014</li> <li>• SQL Server 2014 Express Edition<sup>※6</sup></li> <li>• SQL Server 2012/R2</li> <li>• SQL Server 2012 Express Edition/R2<sup>※6</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SQL Server 2019 Standard</li> </ul>
5	ネットワーク <sup>※7</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• プロトコル: TCP/IP</li> <li>• 使用ポート: HTTP 80,8080<sup>※8</sup>, 443<sup>※7</sup></li> <li>• 使用ポート: TCP 445<sup>※13</sup>, 139<sup>※14</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 同左</li> </ul>
6	サーバ形態 <sup>※9</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 専用サーバ</li> <li>• 他アプリケーションとの共用サーバ<sup>※10</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 専用サーバ</li> </ul>
7	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>• HGPscan PRO または、ServPlus<sup>※11</sup></li> <li>• Microsoft Office<sup>※12</sup></li> <li>• JUST Office<sup>※12</sup></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• HGPscan Serv Plus<sup>※11</sup></li> <li>• Microsoft Office 2019<sup>※12</sup></li> <li>• JUST Office 5<sup>※12</sup></li> </ul>

- ※ 1 推奨環境では、利用者数1,000名程度・データ数100万件程度までを想定しています。  
全文検索(FESS)オプションを導入された場合、メモリ 16GB は必須となります。
- ※ 2 同時接続数は、ハードウェアスペック、IIS 仕様、SQL のライセンス形態により異なります。
- ※ 3 ハードウェアは、VMware や Hyper-V などの仮想サーバも利用できます。
- ※ 4 データ数(保存箱、ファイル、文書明細を合せて)50 万件を想定した場合です。
- ※ 5 全文検索(FESS)オプション導入時は、JDK が必要。
- ※ 6 SQLServer Express Edition のデータ量は最大 10GB まで、使用可能メモリは最大 1GB に制限されています。
- ※ 7 SSL も利用可能。但し、電子証明書の購入が必要となります。
- ※ 8 全文検索(FESS)オプション利用時、ポート 8080 を使用します。
- ※ 9 目安として、利用者数が 2,000 名を超える場合、サーバを 2 台構成(WEB サーバ 1 台、DBサーバ 1 台)や 3台構成(WEBサーバ 2 台(負荷分散)、DBサーバを 1 台)にすることもできます。
- ※ 10 専用サーバを推奨します。他のアプリケーションと共用で利用する場合は、事前に動作確認が必要です。
- ※ 11 電子決裁オプションなどで紙文書の電子化だけを行う場合は、HGPscan PRO。  
電子データの PDF まとめ機能を利用する場合や PDF/A 変換オプションを導入する場合は、HGPscanServPlus が必要。
- ※ 12 電子データの PDF まとめ機能を利用する場合や PDF/A 変換オプションを導入する場合に Microsoft Office が必要。  
一太郎を使用している場合は、JUST Office が必要。
- ※ 13 電子文書管理オプション導入時に使用します。
- ※ 14 クライアント PC からサーバーのバッチ処理を実行する時に使用します。

## File Life Station2 動作環境

### 2. クライアント

No.	項目	動作環境
1	ハードウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CPU: Intel 製 (または同等のプロセッサ) 1GHz 以上</li> <li>• メモリ: 8GB 以上</li> <li>• ハードディスク空き容量: 500MB 以上</li> </ul>
2	画面解像度	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1024 × 768 以上</li> </ul>
3	オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Windows 11</li> <li>• Windows 10</li> <li>• Windows 8.1</li> <li>• (Windows 7)※<sup>1</sup></li> <li>• iOS※<sup>2</sup></li> <li>• Android※<sup>2</sup></li> <li>• Mac OS※<sup>2</sup></li> </ul>
4	Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• Internet Explorer 11※<sup>3</sup></li> <li>• Microsoft Edge※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>、Chrome※<sup>4</sup>、Firefox※<sup>4</sup>、Safari※<sup>4</sup>※<sup>6</sup></li> <li>• (Internet Explorer 9,10)※<sup>1</sup></li> </ul>
5	表計算ソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> <li>--- Microsoft Office 関連 ---</li> <li>• Excel 2021、2019、2016※<sup>7</sup></li> <li>• Excel 2013 SP1 以上</li> <li>• Microsoft Office 365※<sup>10</sup></li> <li>--- JUST Office 関連 ---</li> <li>• JUST Calc 5(5.0.3)以上 ※<sup>8</sup>※<sup>9</sup></li> <li>• JUST Calc 4(4.1.8)以上 ※<sup>8</sup>※<sup>9</sup></li> </ul>
6	Office ソフトウェア※ <sup>11</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>--- Microsoft Office 関連 ---</li> <li>• Microsoft Office</li> <li>• Microsoft 365</li> <li>--- JUST Office 関連 ---</li> <li>• JUST Office</li> <li>• JUST Government</li> <li>• JUST Police</li> </ul>
7	.NET Framework	.NET Framework 3.5～4.8
8	ネットワーク	• プロトコル: TCP/IP

※ 1 通常の動作はしますが、完全な動作を保証するものではありません。

※ 2 Web ブラウザが動作可能なものである場合、iOS や Android、mac でも動作します。

- 但し、ブラウザ以外の機能(各 EXCEL 帳票、電子文書管理、EXCEL 取込機能など)は利用できません。
- また、若干の画面の崩れが出ることがあります。

※ 3 Windows8 以降の場合、Internet Explorer の METRO 版には対応していません。

※ 4 Internet Explorer 以外は、電子文書添付時の電子文書「有り」表示などが直ぐに最新表示されません。その場合「最新の情報を表示」ボタンをクリックしてください。

※ 5 旧 Edge(EdgeHTML)は対象外です。新 Edge(Chromium)からのサポートとなります。

※ 6 safari の Windows 版は対象外です。

※ 7 Excel のストアアプリ版には対応していません。

※ 8 JUST Calc は、動作互換レベルが 0 以外には対応していません。

※ 9 JUST Calc は、書庫レイアウト表から文書一覧の表示ができません。

また、FileLifeStation2 のファイル明細画面、文書明細画面に直接遷移ができません。

※ 10 バージョン: 2209 (ビルド: 16.0.15629.20200)での動作を確認。

※ 11 クライアント PDF まとめオプション利用時に必要なソフトウェアです。JUST Office 関連の場合は「JUST PDF」も必要です。

## File Life Station2 動作環境

---

### 3. バーコードクライアント

(クライアントの機能に加えハンディ棚卸しが可能。バーコード処理オプション(別売り)<sup>※1</sup>のインストールが必要。)

上記「2.クライアント」に加えて以下の環境が必要となります。

No.	項目	動作環境	推奨環境
1	バーコードリーダー <sup>※1</sup>	・ ハンディターミナル ・ 充電兼光通信ユニット	・ 同左
2	インターフェース	・ USB	・ 同左

※ 1 「基本版 アプリケーション」とは別に、「バーコード処理オプションセット(アプリケーション+機器)」の購入が必要となります。(オプションセットには、バーコードハンディターミナル、光通信ユニット、バーコード用アプリケーション(VB)等が含まれています)